

阿津賀志山をもっと知ってもらうために

国見町は、国を見る町なら
ではの宝物が豊富にありま
す。中でも私にとっての国見
町のシンボルは、県境近くに
位置している標高289・4
メートルの低山、阿津賀志山
です。インターネットで検索
すると歴史上でも有名な奥州
合戦の古戦場の山一帯と出て
くる有名な山です。国見町の
お土産品としても今人気のお
酒「あつかしさん」にも登場
している山です。

わが子が藤田小学校時代
は、毎年親子の阿津賀志山登
山があり、頂上から見渡す風
景は格別でした。小学生でも
頂上まで登り切れる低山！そ
の阿津賀志山の良さを色々な
方に知っていただくために、



菊地さかえさん
(石母田原町内会)

誰が見てもわかりやすいPR
をもっと大々的にしていただ
きたいのです。例えば、「ど
こが阿津賀志山なのか?」「登
山口はどこなのか?」を道の
駅やJR藤田駅、観月台文化
センターなどにポスターを掲
示していただきたいと思います。
「登山を始めるなら、まずは
親子で阿津賀志山へ!」のよ
うなキャッチフレーズでPR
したら足を運ぶ観光客も増え
るのではないのでしょうか。今
は車社会なので、交通量の多
い国道4号線の道路標識を大
いに活用していくのが一番お
勧めです。一般の方に目につ
きやすく、行ってみよう、今
日は無理だけど次回はチャレ
ンジしてみたい、と思える案
内板が理想です。観月台文化
センターにも阿津賀志山資料
コーナーを設けて足を運べる
ようにできたら国見町の宝が
どんどん輝いていくことと思
います。登山のできる阿津賀
志山をぜひ実現していただい
けることを切に望みます。

地方議会の課題について考える

地方自治研究交流セミナー



12月20日に、地方自治研究交流セ
ミナーが開催されました。
セミナーでは、講演のほか、質疑応答
の時間が設けられ、活発な議論が交わさ
れました。(詳細は12ページをご覧ください。
さい。)

編集後記

新年明けましておめでとう
ございます。

今年は5月1日に皇位継承
が行われ、また元号も変わる
歴史的にも大きな節目の年を
迎えています。

また、6月には任期満了に
よる町議会議員の選挙もあ
り、東日本大震災から8年目
を迎え、3回目の選挙となり
ます。

この間、災害からの復旧、
復興に向け、町当局とともに
頑張ってきましたが、道半ば
の感が否めません。

新しい時代に即応した町づ
くりのため、今年も数々の問
題解決をしていきたいと思
いますので、町民の皆さんの変
わらぬご支援、ご指導をよろ
しくお願いいたします。
(八島 博正)

発行責任者

議長 東海林一樹

広報常任委員会

委員長 松浦 和子

副委員長 村上 正勝

委員 東海林一樹

委員 八島 博正

委員 佐藤 定男

委員 井砂 善榮

